

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子育て支援対策推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	子育て支援総合情報発信事業、こども未来ネットワーク会議、子ども・子育て支援推進計画進捗管理・最終評価、こども計画の指標設定、子ども・子育て支援会議（計画に関する審議）、動物とのふれあい事業を実施し、子ども・子育て家庭への切れ目ない支援を総合的・計画的に推進します。				
年度概要	①子育て支援総合情報発信事業委託（子育てに関する様々な情報提供） ②こども未来ネットワーク会議の開催（子育て支援団体のネットワーク化） ③子ども・子育て支援推進計画進捗管理・最終評価、こども計画の指標設定 ④子ども・子育て支援会議の開催 ⑤動物とのふれあい事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-⑧	関連根拠法令	高松市子ども・子育て支援推進計画

【事業の目的】

対象（何を）	子どもと子育て家庭
意図（どのような状態にしたいか）	家庭や地域における子育て支援体制を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① こども未来ネットワーク会議開催回数	回	0	0	4	4	4
②						

【事業の成果】

	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	ネットワーク会議参加者総数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	130 76	130	130
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	防災対策に関する研修会を実施するなど、新しい内容での開催に努めたが、目標を達成できなかった。			(目標達成度)				
				(得点) 20点				
	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	らっこネットアクセス件数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	70,000 56,806	70,000	70,000
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	子育て家庭の情報収集方法が SNS等に移行していることに伴い、アクセス件数が減少し、目標を達成できなかった。			(目標達成度)				
				(得点) 28点				

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	妊娠期からの子育て支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分）			

【事業全体概要】

事業概要	常設の地域子育て支援拠点を開設し、主として概ね3歳未満の児童及びその保護者を対象として、子育て親子の交流の場の提供のほか、交流の促進・子育て等に関する相談、援助・地域の子育て関連情報の提供等を実施し、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子どもの健やかな育ちを促進する。 併せて、子どもとその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、地域子育てコーディネート事業を3か所で実施する。				
年度概要	・委託継続11か所（NPO法人、医療機関、社会福祉法人、子育て支援団体）※利用者支援事業3か所含む。 ・直営2か所（各キッズセンター）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第21条の9

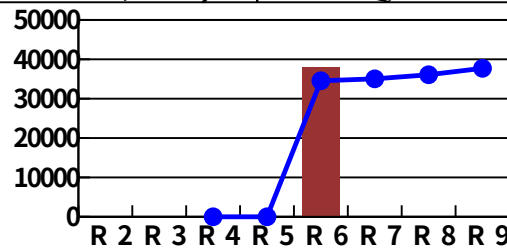
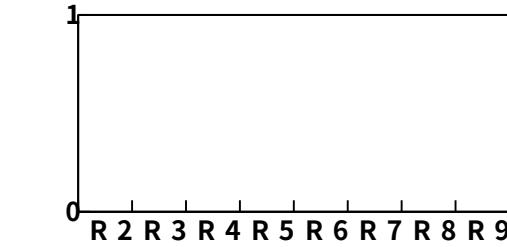
【事業の目的】

対象（何を）	乳幼児及びその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭の育児への負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	地域子育て支援拠点事業の開催日数	日	0	0	3,344	3,300	3,300
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	利用者数（子ども）		人	目標値	0	0	34,548	35,035	36,077	
				実績値	0	0	37,935			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	感染症予防に留意して事業を実施することで、利用者が増加し、目標値を達成した。		(目標達成度) 109.8%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	病児保育事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童が、病氣回復期（病後児）又は病氣の回復期には至らないが当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができず、保護者も仕事等の理由により家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。 また、予約システムの導入により、利用者や施設の負担軽減、利便性の向上に努める。				
年度概要	委託施設（医療機関 7 か所）（病児対応型） トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわこどもクリニック・しぶや小児科・わき外科内科・新規施設（令和 8 年 1 月運用開始） 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第 21 条の 9

【事業の目的】

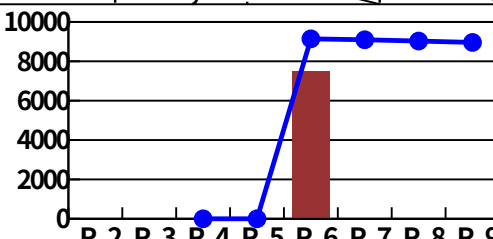
対象（何を）	小学校6年生までの児童とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。

【事業の活動】

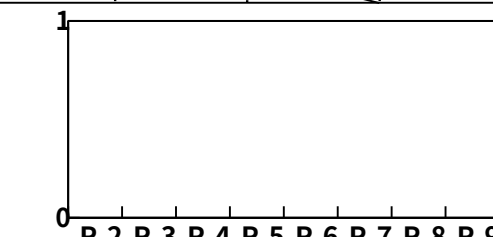
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	開設延べ日数	日	0	0	1,530	1,650	1,750
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
病児・病後児保育事業利用者数	人	目標値	0	0	9,141	9,094	9,029
		実績値	0	0	7,479		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
感染症の流行が落ち着いていたため、利用者数が減少し、目標を達成できなかった。	(目標達成度)		81.8%				
	(得点)		29点				

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)						
	(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	111,912	140,580	140,920	153,943
	(事業費)	105,925	134,558	138,218	151,241
	(職員人件費)	5,987	6,022	2,702	2,702

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 6 年度	委託施設（医療機関6か所）（病児対応型） トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわ こどもクリニック・しぶや小児科・わき外科内科 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）	病児保育事業： 138,219千円 幼児教育無償化給費等： 実績なし	総額 138,218	
			特定財源	国 43,768
				県 49,206
				市債 0
				他 0
			一般財源 45,244	
令和 7 年度	委託施設（医療機関7か所）（病児対応型） トビウメ小児科・西岡医院・小林内科小児科医院・へいわ こどもクリニック・しぶや小児科・わき外科内科・新規施設（令和8年1月運用開始） 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）	病児保育事業： 151,233千円 幼児教育無償化給費等： 8千円	総額 151,241	
			特定財源	国 46,484
				県 54,822
				市債 0
				他 0
			一般財源 49,935	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和6年度は感染症等の流行が落ち着いていたため、利用者数が減少したが、今後においても、ニーズ量に応じた受入れ体制を確保していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

- ・感染症予防に留意しながら、必要な家庭が利用できるよう、受入れ体制を整える。
- ・予約システムの運用など、利用者や施設の負担軽減、利便性の向上に努める。
- ・利用料免除制度により、生活困窮世帯の経済的負担を軽減する。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	放課後児童クラブ事業			

【事業全体概要】

事業概要	保護者が就労等により昼間家庭に居ない、小学校に就学している児童に対して、授業の終了後等に、小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るとともに、運営の一部を民間委託した公設民営の事業を補完するため、学童保育を実施する社会福祉法人等に対して補助金を交付し、事業運営を支援する。					
年度概要	①公立放課後児童クラブ（105教室）運営の一部民間委託に要する経費 ②公立放課後児童クラブ（105教室）運営の直営実施に要する経費 ③放課後児童健全育成事業補助金（民間放課後児童クラブへの運営補助） 41教室					
重点取組事業		市長マニフェスト	1-⑥	関連根拠法令	児童福祉法、放課後児童健全育成事業の設備	

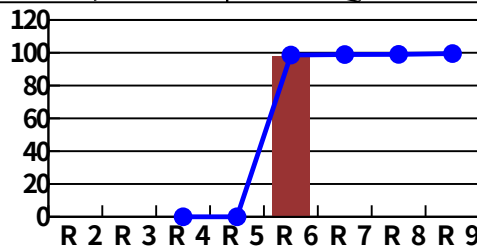
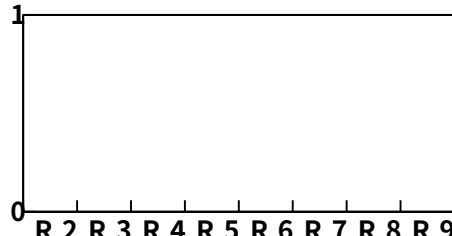
【事業の目的】

対象（何を）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童
意図（どのような状態にしたいか）	児童にとっての安全な居場所を確保するとともに、遊びを通して自主性、社会性、創造性を向上させ、児童の健全育成を推進する。また、これによって保護者にとって安心して就労できる環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 受入可能児童数		人	0	0	5,588	5,895	6,067
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	放課後児童クラブ入会率		%	目標値	0	0	98.6	98.9	99	
				実績値	0	0	97.6			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	民間放課後児童クラブ7教室を増室したことにより、受入可能児童数が増加したが、それを上回る利用希望があったため、目標を達成できなかった。		(目標達成度) 99.0%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	1,118,104	1,166,535	1,495,671	1,613,240	
	(事業費)	[千円]	1,073,200	1,121,373	1,453,211	1,570,780
	(職員人件費)	[千円]	44,904	45,162	42,460	42,460

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	①公立放課後児童クラブ（１０５教室）運営の一部民間委託に要する経費 ②公立放課後児童クラブ（１０５教室）運営の直営実施に要する経費 ③放課後児童健全育成事業補助金（３５教室） ④公立クラブにおける空調設備改修工事実施設計	① 938,154千円 ② 41,360千円 ③ 467,119千円 ④ 3,817千円	総額	1,453,211	
			特定財源	国	405,009
				県	392,834
				市債	0
				他	239,740
			一般財源	415,628	
令和 7 年度	①公立放課後児童クラブ（１０５教室）運営の一部民間委託に要する経費 ②公立放課後児童クラブ（１０５教室）運営の直営実施に要する経費 ③放課後児童健全育成事業補助金（民間放課後児童クラブへの運営補助） 41教室	① 939,594千円 ② 56,027千円 ③ 575,159千円	総額	1,570,780	
			特定財源	国	442,572
				県	441,479
				市債	0
				他	238,780
			一般財源	447,949	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	拡充
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
公立クラブにおける放課後児童支援員の人材不足の解消を要請したほか、学校施設の活用による公立クラブの増室を進めるとともに、複数校区の児童の受入れが可能な民間事業者の参入を促進しているものの、令和7年5月1日現在において、待機児童の解消には至っていない。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
令和6年度からの公立クラブの民間委託化により、公立クラブの更なる増室に対応できるよう、受託者に対して安定的な職員体制の確保を要請するほか、校区ごとの量の見込みの増加に対応するため、公立クラブの整備に当たっては、学校施設の活用による整備を基本としつつ、学校施設外での整備手法も含めて、具体的な確保方策を検討する。公設での対応が難しい地域については、民間事業者による整備を推進するなど、必要とする教室数を確保することにより、引き続き、待機児童の解消を目指す。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て支援の充実		電話番号	087-839-2354
	取組方針	子育て環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ファミリー・サポート・センター事業			

【事業全体概要】

事業概要	仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について相互に助け合う会員（有償ボランティア）組織をつくり、その拠点となる「たかまつファミリー・サポート・センター」を設置し、会員組織の運営管理や相互援助活動の調整・支援などを行う。援助活動内容としては、保育施設への送迎、保育時間前後の子どもの預かり、保護者の病気や急用時、冠婚葬祭、上の子どもの学校行事など外出時の子どもの預かりなどがある。事業運営は、公募により、開設当初から特定非営利活動法人に委託して実施している。				
年度概要	登録会員数見込：2,500人（依頼会員1,850人、提供会員580人、両方会員70人） 援助活動件数見込：10,303件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：38・39号発行 利用者への給付（幼児教育・保育の無償化の一環）				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	児童福祉法第21条の9

【事業の目的】

対象（何を）	育児などの援助を必要とする人と援助を行いたい人
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭が仕事等と育児を両立できる環境を整備し、地域ぐるみの子育て支援・児童健全育成を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① マッチング件数	件	0	0	137	150	150
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	目標値	0	0	10,102	10,303	10,469
			実績値	0	0	8,095		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努めたが、目標には達しなかった。		(目標達成度) 80.1%					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	ファミリー・サポート・センター登録会員数	人	目標値	0	0	2,500	2,500	2,500
			実績値	0	0	2,619		
	成果指標の達成率（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	広報誌の発行や登録会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。		(目標達成率) 104.8%					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	18,971	18,891	13,647	13,764	
	(事業費)	[千円]	12,984	12,869	12,875	12,992
	(職員人件費)	[千円]	5,987	6,022	772	772

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	登録会員数：2,619人(依頼会員1,956人、提供会員589人、両方会員74人) 援助活動件数：8,095件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、 会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：36・37号発行 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	委託料 12,807千円 給付費 69千円 ※三木町・綾川町負担金収入 433千円	総額	12,875	
			特定財源	国	4,302
				県	4,286
				市債	0
				他	433
			一般財源	3,854	
令和 7 年度	登録会員数見込：2,500人(依頼会員1,850人、提供会員580人、両方会員70人) 援助活動件数見込：10,303件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、 会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：38・39号発行 利用者への給付(幼児教育・保育の無償化の一環)	委託料 12,912千円 給付費 80千円 ※三木町・綾川町負担金収入 435千円	総額	12,992	
			特定財源	国	4,344
				県	4,324
				市債	0
				他	435
			一般財源	3,889	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	89 / 100 (89 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 前年度と比べ依頼会員数は増加傾向にあるが、提供会員数は減少している。また、登録会員数の増加に反し、利用件数は減少している。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も提供会員の確保に努めるとともに、講習会及び交流会を定期的に開催し、提供会員の質の向上を図り、必要とする時に支援を受けられる安定したサービスの提供に努める。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業			

【事業全体概要】

事業概要	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進するため、中学生を対象に、乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方の学習及び安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。				
年度概要	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとかかわり方の学習及び安全な抱き方・遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校20校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市子ども・子育て支援推進計画

【事業の目的】

対象（何を）	中学生
意図（どのような状態にしたいか）	家庭での親子のふれあいや地域における様々な人との出会い・コミュニケーションを活性化し、児童の健全な育成及び次代の親づくりを促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	ふれあい体験参加生徒数	人	0	0	2,793	2,600	2,600
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4
ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合	%	目標値	0
		実績値	0
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)			
目標達成には至らなかったが、約8割の生徒が、結婚や子育てに対する理解が深まった。	(目標達成度) 85.0%		
	(得点) 30点		

期	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
実績値	0	0	0	0	85	100	100	100
目標値	0	0	0	0	100	100	100	100

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4
乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合	%	目標値	0
		実績値	0
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)			
目標達成には至らなかったが、約9割の生徒が乳幼児に関心を持つようになった。	(目標達成度) 91.0%		
	(得点) 32点		

期	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
実績値	0	0	0	0	91	100	100	100
目標値	0	0	0	0	100	100	100	100

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	4,355	4,771	4,674	4,870
(事業費)	[千円]	2,110	2,513	2,744	2,940
(職員人件費)	[千円]	2,245	2,258	1,930	1,930

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方の学習及び安全な抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校19校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)	委託料 2,744千円 (19校92クラス)	総額	2,744	
			特定財源	国	0
				県	1,829
				市債	0
				他	0
			一般財源	915	
令和 7 年度	中学生を対象に乳幼児やその保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方の学習及び安全な抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校：中学校20校 各校の1学年の全クラスで事業開催 (事前授業1時間、ふれあい授業1時間)	委託料 2,940千円 (20校94クラス)	総額	2,940	
			特定財源	国	0
				県	2,205
				市債	0
				他	0
			一般財源	735	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
19校の中学校がふれあい体験事業を実施した。 参加希望校は年々増加している。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
事業を実施する学校及び委託団体の意向を尊重した上で、実施方法を検討し、事業を継続する。 また、新たに事業を実施する学校及び委託団体を募集し、事業の拡充に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策		子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針		心身の成長への支援		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		放課後子ども教室事業			

【事業全体概要】

事業概要	放課後等に子どもたちの安心安全な活動場所を確保するため、地域の協力を得ながら、各校区に、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行う。 対 象：小学校１年生～６年生 実施場所：小学校の余裕教室、体育館、運動場、図書室、コミュニティセンター等 実施時間：平日 放課後～午後５時、土曜日・日曜日等 午前９時～正午				
年度概要	放課後子ども教室事業の実施 ３７校区／４６校区 継続 ３５校区 新規 ２校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 １回 子どもの居場所づくり指導者養成事業（研修会）開催 ５回				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市放課後子ども教室実施要綱

【事業の目的】

対象（何を）	小学校の１年生から６年生の児童
意図（どのような状態にしたいか）	子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	開設延べ日数（放課後子ども教室）	日	0	0	1,391	1,450	1,525
②	放課後子ども教室実施校区数	校	0	0	35	37	40

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
参加児童数	人	目標値	0	0	31,600	33,600	35,600																		
		実績値	0	0	32,105																				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><thead><tr><th>R</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th></tr></thead><tbody><tr><td>参加児童数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>32,105</td><td>33,600</td><td>35,600</td><td>35,600</td></tr></tbody></table>				R	2	3	4	5	6	7	8	9	参加児童数	0	0	0	0	32,105	33,600	35,600	35,600
R	2	3	4	5	6	7	8	9																	
参加児童数	0	0	0	0	32,105	33,600	35,600	35,600																	
コミュニティ協議会の会長等が集まる総会において、事業の連携等について説明を行うなど、実施校区数の増加に努めた結果、新規開設に繋がったことや、子ども教室のプログラムに複数回参加する児童が増えたことで、目標を達成することができた。				(目標達成度) 101.0%																					
				(得点) 35点																					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
登録児童数	人	目標値	0	0	2,700	2,900	3,200																		
		実績値	0	0	2,566																				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><thead><tr><th>R</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th></tr></thead><tbody><tr><td>登録児童数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2,566</td><td>2,900</td><td>3,200</td><td>3,200</td></tr></tbody></table>				R	2	3	4	5	6	7	8	9	登録児童数	0	0	0	0	2,566	2,900	3,200	3,200
R	2	3	4	5	6	7	8	9																	
登録児童数	0	0	0	0	2,566	2,900	3,200	3,200																	
コミュニティ協議会の会長等が集まる総会において、事業の連携等について説明を行うなど、実施校区数の増加に努めた結果、新規開設に繋がったが、目標には達しなかった。				(目標達成度) 95.0%																					
				(得点) 33点																					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	23,995	24,261	23,081	27,394
(事業費)	[千円]	16,511	16,734	17,291	21,604
(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	5,790	5,790

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	放課後子ども教室事業の実施 35校区／46校区 継続 34校区 新規 1校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業（研修会）開催 5回	実施委託料等 17,210千円 委員会・研修会開催経費 82千円	総額	17,291	
			特定財源	国	5,752
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	11,539	
令和 7 年度	放課後子ども教室事業の実施 37校区／46校区 継続 35校区 新規 2校区 放課後子ども総合プラン運営委員会開催 1回 子どもの居場所づくり指導者養成事業（研修会）開催 5回	実施委託料等 21,426千円 新規開設校区備品購入費 70千円 委員会・研修会開催経費 108千円	総額	21,604	
			特定財源	国	7,201
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,403	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88%)	今後の方向性	拡充
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
実践的かつ多様な研修を実施することにより人材の育成を図り、事業の充実に努めた。 目標達成に向け、引き続き、新規開設校区の増加に取り組む必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実に図るとともに、未実施校区の現状の把握に努めながら、関係団体に対し、独自財源で実施している類似事業を放課後子ども教室として実施することを提案するなど、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る。また、地域の現状や課題を踏まえ、連携型の増加を図っていく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2354
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子ども食堂等支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	核家族や共働き、ひとり親家庭などの増加に伴い、一人で食事をする「孤食」となる子どもが増えている中、子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を確保するため、子どもたちに無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や生活環境等についての相談支援、学習・生活習慣についての支援も行う「子ども食堂」の開設や運営に係る費用の一部を補助する。 また、子ども食堂実施団体の基盤・体制の強化を図るため、「たかまつ子ども食堂ネットワーク」と連携を図りながら、企業・個人等とのマッチングや寄附・食材提供等の受け入れなどを促進する。				
年度概要	- 子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算） - 子ども食堂ネットワーク事業委託（1団体）				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-④	関連根拠法令	こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関

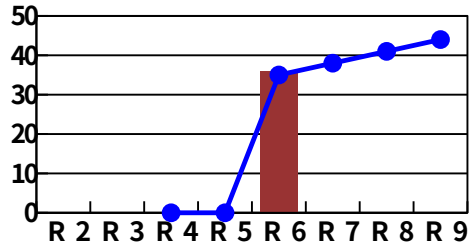
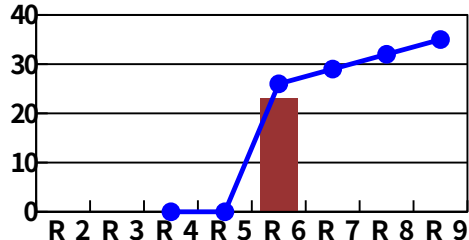
【事業の目的】

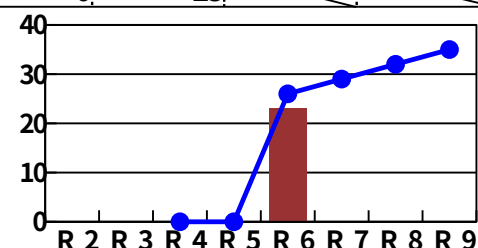
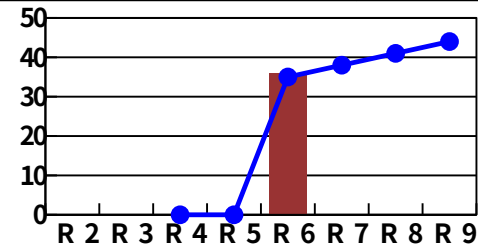
対象（何を）	高松市内の全ての子どもや地域住民など
意図（どのような状態にしたいか）	子ども食堂の開設及び継続的・安定的な運営の確保を促進することで孤食の防止や安心できる居場所を提供する。また、フードパントリーの実施を通じて、生活環境が厳しい子育て家庭などと支援を結びつけるつながりの場を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 子ども食堂助成箇所数	箇所	0	0	26	27	30
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	子ども食堂箇所数	箇所	目標値	0	0	35	38	41	
			実績値	0	0	36			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	子ども食堂の開設や運営に係る費用の一部を助成することで、子ども食堂の新規開設を促し、目標を達成した。	(目標達成度)							
(得点)									
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	たかまつ子ども食堂ネットワーク参加団体数	団体数	目標値	0	0	26	29	32	
			実績値	0	0	23			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	新規開設団体等に参加を促進し、参加団体数は増加しているものの、目標には達しなかった。	(目標達成度)							
(得点)									



【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	6,406	10,739	16,803	19,351	
	(事業費)	[千円]	5,658	9,986	12,943	15,491
	(職員人件費)	[千円]	748	753	3,860	3,860

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 6 年度	・子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算） ・フードパントリー事業委託（1団体） ・子ども食堂ネットワーク事業委託（1団体）	【子ども食堂】 開設支援：2か所 運営支援：26か所	総額 12,943	
			特定財源	国 8,621
				県 0
				市債 0
				他 0
一般財源 4,322				
令和 7 年度	・子ども食堂運営補助等（初期経費、運営補助、学習支援加算、相談支援加算） ・子ども食堂ネットワーク事業委託（1団体）	【子ども食堂】 開設支援：3か所 運営支援：28か所	総額 15,491	
			特定財源	国 10,320
				県 0
				市債 0
				他 0
一般財源 5,171				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
子ども食堂が、子どもの孤食を防止し、地域住民の繋がりや学習支援の場となる意義を有することを、引き続き周知・啓発することで、地域住民、福祉関係者や教育関係者等の理解と協力を促す必要がある。 また、子ども食堂実施団体の基盤・体制の強化を図り、継続的・安定的な運営を支援するため、「たかまつ子ども食堂ネットワーク」と連携を図りながら、企業・個人等とのマッチングや寄附・食材提供等の受入れなどを促進する。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
子ども食堂ネットワークへの加入を促進し、加入団体と連携しながら、安定的・継続的運営を支援し、各実施団体の基盤・体制の強化を図る。						